〈取締役　大重潤一郎　略歴〉

http://www.lico.jp/

QuickTimeý Ç²
êLIÉEvÉçÉOÉâÉA
Ç™Ç±ÇÃÉsÉNÉ`ÉÉÇ¾â©ÇÉÇžÇ½Ç…ÇÕïKóvÇ-ÇÌÅB

１９４６年、鹿児島県生まれ。岩波映画の助監督となり、ドキュメンタリーを学ぶ。１９７０年に岩波の仲間達と自主制作で劇映画「黒神」を完成、ホールを借りて全国で自主上映する。この上映の拠点のひとつであった神戸に転居し、地方自治体の反公害映画やテレビドキュメンタリーなどを制作。９５年、阪神淡路大震災に遭遇、その惨状を身にもって体験する。そこで得た経験から、自然に対する畏敬の念が益々深まり、映画作りへの意欲を燃やす。沖縄の自然をテーマとした「光りの島」を皮切りに、自然の中における人間の位置を、常に自然の側から問いかける作品を作り続けている。

２００３年ベルリン国際映画祭に正式招待。２００２年NPO法人沖縄映像文化研究所を設立、理事長に就任。２００４年、沖縄県より「美(ちゅ)ら島大使」の任命を受ける。２００５年３月、神の島と呼ばれる久高島(沖縄県知念村)を舞台にした映画「久高オデッセイ」第一部を完成。NPO法人東京自由大学副理事長。

監督作品：「黒神」（1970 年、劇映画　モノクロ 35㎜）、「小川プロ訪問記」(1981 年、大島渚・小川紳介出演)、「光りの島」(1995 年、上条恒彦出演)、「風の島」(1995 年、元沖縄県立芸術大学学長・陶芸家・大嶺實清出演)、「縄文」(2000 年、梅原猛監修)、「原郷ニライカナイへ」(200１年、比嘉康雄出演)、「ビッグマウンテンへの道」(2001 年、山尾三省朗読)